

## 複数愛における関係性

### ポリアモリー実践に伴う「葛藤」の語りから

深海菊絵 (一橋大学大学院)

「ポリアモリー (polyamory)」とは、複数の者を同時に「誠実」に愛する恋愛実践、とその実践者たちを指す。本発表の目的は、ポリアモリー実践に伴う問題や、実践者たちの葛藤の語りに注目し、偶発的で予測不可能な日常の中で、彼/彼女たちがいかに他者との関係を築いているのか、という問いを探究することである。具体的には、(1)ポリアモリー理念を共有する仲間たちの関係性、(2)ポリアモリー関係にある者同士の関係性の二方向から検討を試みる。なお、本発表では、米国におけるポリアモリー実践と実践者たちを対象としている。

「ポリアモリー」という言葉は、ギリシア語の「複数 (poly)」とラテン語の「愛 (amor)」に由来し、「複数の愛」を意味する造語である。「複数の愛」に「誠実な」という言葉が付け加えられ、現在の定義に至っている。その「誠実な」という語が加えられた理由は、ポリアモリーが目指す人間関係が、「一時的な恋愛関係や性的関係ではなく、『誠実』で長期的な関係である」ことを強調するためである [Anapol 2004]。

ポリアモリー実践者たちの間では、自らの意志によって自らの恋愛のスタイルを選びとることが重要である、という共通認識がみられる。また、実践者たちを手引きするいくつかの教本では、「理性と知識があれば、『自由な恋愛』が可能」であることが強調されており、そこでは自律的な個人であることが理想とされている。このように個々人の自由意志に基づく「自由な恋愛」を前提としながらも、ポリアモリー実践者たちの間では、複数の者と同時に恋愛関係をもつことに伴う問題をいかに克服するかが課題となっている。とりわけ「嫉妬」問題は、取り組むべき重要課題とされており、感情をコントロールするための様々な試みがなされている。感情管理の他、スケジュール管理や性行為の管理などの、自己管理がポリアモリー実践の特徴としてあげられる。

ポリアモリー実践では、複数の者と交際することで生じる問題を予め回避するために、様々な工夫がなされている。その際、「ポリアモリー倫理」が参照されている場合が多い。その「ポリアモリー倫理」とは、以下のようである。一、パートナー同士は自由に意見を出し合い、交際条件を合意の上で決定すること。二、自分とパートナーに常に誠実であること。三、全てのパートナーに配慮すること。四、パートナーと真剣に向き合うこと。五、約束を守ること。六、個性を尊重すること。これらの六つの倫理を参考に、パートナー間でルールを取り決めている。ここから、愛する者とルールを取り決め、計画的に関係を築こうとする実践者たちの一面がうかがえる。

しかし、このような状況、すなわち個人の自由意志を強調しながらも、同時に自己と他者を律する規範や倫理を求めざるをえないというパラドキシカルな状況が、かえって実践者たちに葛藤を生じさせる原因となるような場合も少なくない。また、ルールに従っていれば、問題なく愛する者と関係性を築いていける、というわけではなく、偶発的で、ささやかな出来事が、思わぬ葛藤や問題を引き起こすことは決して稀なことではない。

それらポリアモリー実践に伴う葛藤や問題は、サポートグループやポリアモリー・カウンセラー、あるいは自らと同じくポリアモリーを実践している者に、ミーティングやインターネット上で相談される。本発表の一つ目の試みは、サポートグループのミーティングにおいて、問題や葛藤が他者に相談されていくプロセスの検討を通し、ポリアモリー理念を共有する仲間たちの関係性を明らかにすることである。

本発表では、これらポリアモリー実践に伴う問題や葛藤の語りに注目するわけだが、それらを単に自己管理に失敗した個人の物語とすることが目的というわけではない。そのような視点からは、葛藤を抱えながらも、愛する者との関係を継続しようとする実践者たちの姿を説明するには不十分である。そこで本発表では、バトラーの主体形成の受動性「[対格]の私」という視点を手掛かりに、ポリアモリー実践者たちの葛藤の語りの検討を試みる。「[対格]の私」とは、すなわち、他者に対して受動的な仕方でのみ創出される「わたし」である [Butler 2005]。本発表の二つ目の試みは、葛藤の語りの検討を通し、ポリアモリー関係にある者同士の関係性に接近することである。それは、時に、動揺や反発しながらも、なおかつ共感や感動を互いに与えるような愛の関係性に迫る試みでもある。以上、二つの試みから、自律的個人を理想とするポリアモリー実践者たちが、図らずも他者に魅了されながら、そして他者を必要としながら生きる姿を探究していきたい。

#### 【参考文献】

Anapol M. Deborah, 1997, *Polyamory: The New Love Without Limits: Secrets of Sustainable Intimate Relationships*. IntiNet Resource Center.

Judith Butler, 2005, *Giving an Account of Oneself*, Fordham University Press.